

令和4年度 京都市ふるさと納税寄付金充当事業報告書

京都市ふるさと納税寄付金に御寄付を賜り、心より御礼申し上げます。

皆様から頂戴いたしました寄付金を活用させていただき、下記の事業に取り組んでおりますことを御報告申し上げます。

京都市には千二百年を超える悠久の歴史と文化が息づき、山紫水明の自然と美しい街並みが、世界中の多くの人々を魅了しています。こうした京都の魅力を次世代に伝えていくために、これからも多彩な取組を進めて参りますので、引き続き、皆様からの御支援をよろしくお願い致します。

令和5年12月吉日

京都市長 門川 大作

令和4年度の主な活用事業

京都ならではの「はぐくみ文化」を活かした子ども・若者等への支援

乳幼児健康診査／3歳児健康診査における屈折検査の導入

子どもの発育・発達の確認、病気の早期発見・早期治療につなげることを目的として、市内に居住する生後4か月児、8か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、乳幼児健康診査を実施しています。

令和4年7月から、弱視の早期発見・早期治療につなげるため、3歳児健康診査において屈折検査を開始し、令和4年度は6,709人が受検しました。



3歳児健康診査における屈折検査

未来を担う子どもたちを応援！～教育環境の充実～

学校・幼稚園等運営費／京都市子ども・大人のまなび応援事業

学校、幼稚園における経常的な運営費のほか、「京都市子ども・大人のまなび応援事業」として、学校歴史博物館、青少年科学センター、花背山の家、京都アスニー・アスニー山科、図書館といった生涯学習施設・教育施設における各事業の一層の充実を図りました。



小学校での授業風景



青少年科学センターの内観（左）と外観（右）

新しい市立高校創設プロジェクト

時代を先導する美術専門高校として京都芸大と一体的に整備した美術工芸高校と、次代を開き新たな創造を生み出す新しい普通科系高校として整備してきた開建高校が、平成11年度の堀川高校改革から続く市立高校改革の総仕上げとして、ともに令和5年4月に開校しました。



美術工芸高校



開建高校

人と動物とが共生できるうるおいのある豊かな社会の実現

京都動物愛護センター運営

京都市では、京都府とともに制定した「京都動物愛護憲章」の理念のもと、「人と動物が共生できるうるおいのある豊かな社会」の実現に向けた取組を進めています。

寄付金を活用し、「京都動物愛護センター（愛称：動物愛ランド・京都）」を拠点とした収容動物の譲渡、動物愛護教育、まちねこ活動支援、ペットの災害対策などの動物愛護事業に取り組むとともに、動物愛護週間の啓発イベントを通じて動物愛護思想の啓発に努めています。



京都らしい美しい景観の保全・継承

歴史的風土特別保存地区内の維持管理

京都市は三方を山々に囲まれ、山ろく部を中心に歴史的資産が数多く集積しており、風情豊かな歴史的景観を生み出しています。この優れた自然的、歴史的景観を保全するため、法律に基づき土地を買い入れており、買い入れた土地は歴史的風土を維持保存するための適正管理を行っています。

令和4年度は、台風による倒木処理後に残る根株が目立った小倉山歴史的風土特別保存地区内を、人々が美しい景観を感じ取れるよう整地や植栽等を実施しました。



整備前



整備後

三条大橋の補修・修景

三条大橋の補修・修景

三条大橋の木製高欄については、昭和49年に更新されましたが、老朽化が進行していたため、平成30年度から「三条大橋の補修・修景」として木製高欄の更新を始めとし、舗装及び防護柵の更新に取り組んでいます。

令和5年度の事業完成を目指して、令和4年度は9月に現場工事に着工し、車道舗装及び下流側木製高欄の更新を実施しています。



完成後イメージ

地域と文化を支える伝統産業や観光などの振興

「伝統産業の日」年間を通じた魅力発信事業

若手から名匠まで、多くの職人の作品を展示する展示会や、絵本を題材としたワークショップ、ファッション雑誌とのコラボ商品を販売するマルシェなど、様々な「伝統産業の日」関連事業を実施し、老若男女問わず多くの方に御参加いただきました。



匠エキスポ（若手から名匠まで多くの職人の作品を展示する展示会）

京都総合観光案内所の運営

府市協調による、京都総合観光案内所運営協議会が運営主体となり、平成22年3月に京都総合観光案内所（愛称：京なび）を京都駅ビルに設置しました。令和4年度も引き続き、府内全域の交通案内を多言語で行うとともに、宿泊施設の紹介、催しチケットの販売など、観光情報の提供をワンストップで行いました。



京都観光案内所（愛称：京なび）の外観（左）と受付の様子（右）

未来創造型企業支援プロジェクト

革新的な技術や独創的なビジネスモデルを持つベンチャー企業等の優れた事業プランを全国から募集し、京都市ベンチャー企業目利き委員会においてAランクに認定された事業について、専門のコーディネータによる体系的かつ継続的な伴走支援を実施しています。

認定企業（令和4年3件、累計157件）の中から6社が上場を実現するなど、ベンチャー企業の発掘、育成を行うことで京都産業のさらなる発展を目指します。



京都市立芸術大学移転整備 ～「文化芸術都市・京都」の新しいシンボルゾーンを創生～

芸術大学移転整備事業

京都の都市格と魅力向上を図り、千年の都・京都に息づく文化を世界に発信するまちづくり、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーン創出の核となる、京都市立芸術大学の京都駅東部エリアへの移転整備事業に取り組みました。

（令和3年4月から進めてきた新キャンパスの建築工事を令和5年8月末に完了し、10月に移転開校しました。）



京都市立芸術大学の北西側からの外観

新型コロナウイルス感染症対策支援

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策に係る医療機関等への支援について、日曜日・祝日並びにゴールデンウィーク、お盆及び年末年始の診療検査・相談体制の確保に万全を期すため、患者の受入れ等に協力いただいた医療機関等に対して支援金を交付してきました。

令和4年度には延べ403件の医療機関及び薬局に対して支援金を交付しました。

